



沖縄県商工会青年部連合会
会長 高里 健作

平成二十二年の新春を迎え、謹んで新年の挨拶を申し上げます。旧年中は、青年部連合会事業に多大なご指導ご鞭撻を賜り、誠にありがとうございました。

平成二十年九月の米国サブプ

ライムローン問題に端を発した世界同時不況の影響から、日本経済は立ち直りの兆しを見せているとの観測がありますが、いまだに沖縄県経済は低迷が続き、特に公共事業の減少による建設業界の倒産件数の増加や、新型インフルエンザの影響による修学旅行の減少など観光産業についても大きな打撃を受けているところでもあります。

このような状況の中で、各地域の商工会青年部では、地域振興や組織活性化に加えて、資質向上事業として経営革新等にチャレンジするなど、地域経済を担う「真の経営者」となるために、日々研鑽に努めているところであります。

我々青年部は、全国に広がる青年部ネットワークを活用し、多くの情報の中から各地域に有益なものを参考に新たな取り組みを行い、地域に元気を与えるとともに、所属事業所の経営改善・経営革新に繋げるとともに、商

業界の倒産件数の増加や、新型インフルエンザの影響による修学旅行の減少など観光産業についても大きな打撃を受けているところでもあります。



沖縄県商工会女性部連合会
会長 玉城 光子

平成二十二年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、商工会女性部連合会の諸事業を遂行するにあたりまして、多数の関係機関をはじめ、各市町村商工会女性部部长並び

に部員各位に格別なるご支援を賜り深く感謝申し上げます。さて、わが国経済は下より、沖縄経済においても未だ暗く長いトンネルから抜け出せずにあります。

こうした中、私たち商工会女性部は、女性らしい感性と特性を活かした事業を通し、地域に明るい話題を振りまきながら、更なる資質の向上と自己研鑽に努め、日々精進しなければなりません。

その為には、部員加入増強による組織運営強化はもとより、

提案公募型事業や広域連携事業等の諸事業を通して、個々の事業経営の発展と安定を目指しながら、経営改善普及事業に積極的に取り組むことで、地域経済ひいては県経済の危機を打破するものと考えています。

本年度は、「環境エゴ事業を創設し、「マイ箸運動」、「環境エゴ事業視察研修」事業を行ない、環境に配慮した暮らし方で「循環調和のまちづくり」の啓蒙普及に努めました。

また、南部・先島支部においては、提案公募型事業と広域連

工会の将来を担う経営者として自立・自律することを目指して行動していくことが責務であると考えております。

本年も商工会青年部は、資質向上と組織強化を重点事業として掲げ、積極的に事業を展開いたしますので、皆様方のご支援とご協力をお願いするとともに、商工会、女性部並びに青年部の益々の発展を祈念申し上げます。当たってのご挨拶といたします。

携事業として、地域の特産品を掘り起こし試行錯誤の上、商品化までこぎつけ、その成果を沖縄産業まつりで同時開催致しました、県連主催の「ありんくりん市」で、展示発表し高い評価を得たと思います。

新しい年を迎え、二十八商工会女性部員一人々が力を合わせ、地域経済振興の一助として、豊かな街づくりの担い手として、更なる飛躍を祈念申し上げます。女性部にとって幸多き年になりますよう、年頭のごあいさついたします。